

BizDev Meetup ! オープンイノベーションで 東北・新潟をもっとおもしろく ～第2回 StudyNight「MaaSが変える東北・新潟」実施報告～

1. オープンイノベーションプログラム 「BizDev Meetup !」について

当センターでは、2021年度よりオープンイノベーションプログラム「BizDev Meetup !」を推進している。

BizDev Meetup ! のコンセプトは「オープンイノベーションで東北・新潟をもっとおもしろく」。同コンセプトのもと「東北圏の企業と協働したい」「東北圏で新規事業を興したい」「東北圏をもっと元気にしたい」という熱意を持つ方に対して、出会いと学びの機会を提供するイベント型プログラムとして企画・実践しており、2021年度のプログラムは「キックオフイベント(1回)」「StudyNight(テーマ別に2回)」「Pitch(1回)」の3種4回で構成される。

本稿では2022年2月15日(火)にオンライン開催した第2回「StudyNight」の概要を報告する。

なお、過去のイベント概要は機関誌「東北活性研」vol.46(令和4年1月発行)をご覧ください。

2. 第2回 StudyNight「MaaS 変える 東北・新潟」実施報告

StudyNight は、所属している組織内だけでは得られにくい、外部の技術やアイデアを学ぶことを目的とした出会いの場として開催している。東北圏特有の地域課題等に関するテーマを設定のうえ、当該テーマに造詣が深いゲストをお招きし、平日の仕事を終えて一段落した時間



にリラックスした雰囲気学び、語り合うオンラインイベントである。

2021年8月に開催した「アグリビジネスの可能性」に続く第2弾のテーマは「MaaS 変える東北・新潟」。近年、MaaS(マース=モビリティ・アズ・ア・サービス)という言葉自体は見聞きする機会が増えたものの、交通、観光、物流、通信等、MaaSが抱える事業分野が多岐にわたることもあり「詳しく知りたいけれど何から学べばよいか分からない」といった声も聞かれる。そうした、ややとっつきにくい印象を持たれがちなMaaSについて、基礎から実務的な部分まで、事例も交えて理解を深めていただくことを企図して実施したのが本イベントである。

登壇したゲストは、株式会社日本総合研究所創発戦略センター シニアスペシャリスト 井上 岳一氏と、株式会社NTTドコモ 法人ビジネス本部 5G・IoT ビジネス部 モビリティビジネス推進室 室長 深井 秀一氏の2名。MaaS分野に詳しいゲストの話を直接聞ける貴重な機会として認識いただき、MaaS分野に参入したいスタートアップ経営者や、大企業で新事業開発を担当する管理職社員など、多くの方に参加いただいた。

イベントは2部構成で進行。第1部はスタ

ディートークと題し、ゲスト2人によるトークセッションを通じて MaaS について基礎から学んだ。井上氏からは MaaS の定義や必要とされる背景、諸外国の事例、都市型・地方型・観光型といった MaaS の種別、オンデマンド交通の重要性などを総括的にお話いただいた。

その後、深井氏からは「次世代モビリティに向けた NTT ドコモの取り組み」と題し、NTT ドコモが取り組んでいる MaaS 実証実験の具体的事例や将来展開などについてご説明いただいた。

第2部は、質疑応答を通じたゲストと参加者の交流時間。Zoom 参加者に加え、YouTube



参加者からの鋭い質問にも分かりやすく答えていただいた(井上氏(左上)、深井氏(右上))

Live 視聴者からも続けざまに質問が寄せられ、MaaS に対する関心の高さがうかがえた。

3. 2022年度の展望

2021年度に実施した BizDev Meetup! では、全4回のイベントを通じて、東北・新潟をはじめ多くの地域から、のべ500人以上もの方々に参加いただき「熱意を持つ方に対し出会いと学びの機会を提供する」という所期の目的の1つを達成できたと考えている。各イベント後に実施した参加者アンケートにおける満足度は非常に高く、イベントの継続実施を望む声や、具体的に参加したいイベントメニューやテーマの提案なども数多く寄せられている。

上記を踏まえ2022年度も本事業を継続することとし、オープンイノベーションに関わる各種団体(経済団体、学術機関、VC・金融機関・スタートアップ支援機関、国・自治体等)との結びつきを一層強化することで、東北圏のビジネスや産業振興・活性化に興味をお持ちの方々に広く取り込むとともに、出会いの場、交流の場としての機能を高めていきたい。

StudyNight (MaaS が変わる東北・新潟) 概要

| | | |
|----------|--|---------|
| 日時 | 2022年2月15日(火) 19時~21時 | |
| 場所 | オンライン開催(配信会場:シビレ(株)オフィス(宮城県仙台市)) | |
| 参加者 | Zoom | 10名 |
| | YouTube Live | のべ約100名 |
| 登壇者 | (株)日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト 井上 岳一 氏 (株)NTT ドコモ 法人ビジネス本部 5G・IoT ビジネス部 モビリティビジネス推進室 室長 深井 秀一 氏 | |
| 概要 | 第1部 19:00-20:00 トークセッション ・ゲスト2人のトークセッションを通じて「MaaS」全般について学んだ。 ・初めに井上氏から、東北圏の現状や課題、地方とりわけ東北圏における MaaS 市場の成長性等について紹介いただいた後、深井氏からドコモにおける MaaS への取り組みや今後の展望等についてお話いただいた。 | |
| | 第2部 20:00-21:00 交流会 ・参加者からゲストへの質問を中心に展開。参加者が従事する業務との関連など実務的な内容も含めて活発な意見交換が行われた。 ・YouTube Live 視聴者からも多くの質問が寄せられ、MaaS への関心の高さが伺えた。 | |
| ゲストの主な発言 | ・鉄道やバス、タクシー、フェリー、エアラインのような既存の交通サービスに、レンタカーやバイクシェア、キックスクーターなども含め、全ての交通手段を使った移動とそれに伴うサービスを一つのアプリを介して利用できるのが MaaS のイメージ。(井上氏) ・移動の問題は地方でどんどん深刻化。マイカーに頼れなくなった後、広い東北でどのような社会をつくっていくのか。東北モデルをつくれたらおもしろい。(井上氏) ・MaaS を設計・運用する上ではさまざまな要素を考慮する必要があり、どこかで成功した事例をそのまま他の地域でやってもうまく当てはまらない。ローカルそれぞれにある状況をよく理解し、そこにフィットした形で取り組む必要がある。(深井氏) ・東北は課題が山積みでモビリティ業界の数字を分析するとギリギリで踏ん張っている印象。その頑張っで耐えているところにどうやって持続可能なモビリティをつかっていくか。一つの市、自治体、村でもいい。そういったことにチャレンジしたい。(深井氏) | |
| レポート | イベントの様子をまとめたレポートは以下 URL から視聴可能 https://bizdev-meetup.jp/studynight_2/report | |